

「平成 26 年度 第 1 回 DRM セミナー」

本年度第 1 回の DRM セミナーでは、9 月 7 日～11 日に米国デトロイト市で開催された第 21 回 ITS 世界会議のトピックを報告いたします。

本年の世界会議は、「つながる世界で、あらたな交通の創世へ」をテーマに掲げ開催されました。その中では自動運転や協調型システム (Connected Vehicles) がトピックでした。

そこでセミナーの前半では、一般財団法人日本自動車研究所から講師をお招きし、自動走行システムの研究開発の動向や課題を解説いただきます。後半では、当協会職員 3 名の視点で会議の報告をいたします。

■日時 平成 26 年 10 月 9 日 (木) 14:30～17:00 (受付開始 14:00)

■場所 日本デジタル道路地図協会 6 階 大会議室

■講演

(1) 「自動走行システムを巡る研究開発とその動向」

一般財団法人日本自動車研究所 ITS 研究部 香月 伸一 主任研究員

(2) 「第 21 回 ITS 世界会議デトロイト 2014 のトピック」

ISO/TC204/WG3 国際コンビーナ 柴田 潤 DRM 特別研究員

DRM 協会

土居原 健 研究開発部長

DRM 協会

山戸 佐知男 調査役

■定員 80 名 ***定員に成り次第、締め切らせていただきます。**

■参加費 無料 (事前申込み必要)

■会場案内 東京都千代田区平河町 1-3-13 ヒューリック 平河町ビル 6F
 DRM 会議室 (地図は下記 URL をご参照ください。)
<http://www.drm.jp/company/address.html>

■参加申方法

参加をご希望の方は、**10 月 2 日 (木) まで**に、①参加者氏名、②会社名、所属、役職、③電話番号、④電子メールアドレスを記載し、下記メールアドレスへ参加申し込みメールをお送りください。

(参加者が複数の場合は、参加者全員の氏名等上記①～④の記載をお願いいたします。)

担当 suganuma@drm.or.jp DRM 菅沼 宛

■主な内容

(1) 「自動走行システムを巡る研究開発とその動向」

自動走行システムが脚光を浴びている。我が国で戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の1つに自動走行システムが採り上げられ、EUでは複数の研究開発プロジェクトが開始されている。自動走行システムを実現するキー技術の一つが走行環境認識技術であり、各種センサ情報や地図データベース、V2Xによる情報をいかに活用するかが重要である。本講演では、自動走行システムの研究開発動向を俯瞰すると共に、走行環境認識技術に関する課題を考察する。

(2) 「第21回 ITS 世界会議デトロイト2014のトピック」

【主催】 ITS America

【公式 Web サイト】 <http://itsworldcongress.org/>

【参考 YouTube サイト】 <https://www.youtube.com/user/ITSWorldCongress>

【開催概要】 ・参加者数: 約9千人

- ・会議登録: 約2千人
- ・展示登録: 約2千人
- ・展示ブース: 約220



【会場】COBO Center, Detroit



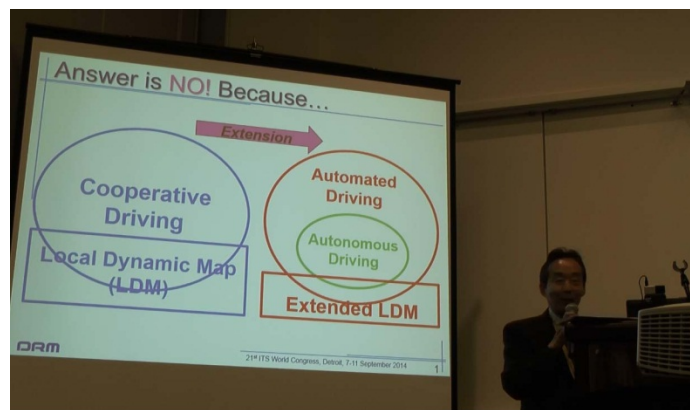
オープニングセレモニー
レセプション



© General Motors
キーノートスピーチ
General Motors CEO Mary Barra



Japan Pavilion



スペシャルインタレストセッション SIS20
- Is There Vehicle Automation without Accurate Maps?
柴田 潤 DRM 特別研究員（登壇中）

○ お問い合わせ

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-13
(ヒューリック平河町ビル)
一般財団法人 日本デジタル道路地図協会 (担当 菅沼)
TEL 03-3222-7990
e-mail suganuma@drm.or.jp
<http://www.drm.jp>